

令和7年11月20日
岡山県重症心身障害児(者)を守る会
会長 濱口 喜直

愛のともしび【在宅版】

木々の葉も色づき、秋の深まりを感じる頃となりました。皆さまお変わりありませんか。今年はインフルエンザの流行も早まっているようです。感染症に気をつけながら元気に過ごしたいですね。遅くなりましたが、今回の愛のともしび在宅版では、8月17日に実施した岡山県守る会主催の『防災デイキャンプ』についてご報告いたします。

～楽しくみんなで考える『防災デイキャンプ』～



当日は暑い中でしたが、障がい児者と家族 12 組(30 名)、相談支援や訪問看護、通所事業所などから多くの支援者の方、岡山県・岡山市・倉敷市など行政の方々も参加してくださいました。お手伝いしてくださった旭川荘の職員さんと学生ボランティアさん、守る会の役員を含めて総勢 90 名、会場の旭川児童院多目的ホールは満員になりました。

《旭川荘療育・医療センター副院長による講演と施設見学》

午前中は、「旭川荘療育・医療センターにおける災害発生時の対応について」副院長の西谷友宏先生がお話してくださいました。食料などの備蓄場所や自家発電装置など、施設内の見学もさせていただきました。



○参加者感想

- ・旭川荘さんの防災対策がとてもよくわかり参考になりました。
- ・自家発電装置など、なかなか見ることができないので貴重な体験でした。
- ・自家発電装置の周りの防音壁やCO2の排気装置を見て、命を守るのは想像以上に大変だと思いました。



《工作コーナー》

施設見学に参加しない子どもたちは、
旭川荘の職員さんと一緒に楽しい工作の時間、
とっても素敵な風鈴が完成していました！

《防災食の試食》

お昼は、岡山市から提供いただいた防災食のアルファ化米、江崎グリコさんから提供いただいた温めなくても美味しいカレーやお菓子のビスコを試食しました。食形態に配慮が必要な子どもたちは、一人ひとりに合わせた形態(ペースト、刻みなど)のレトルトを試食しました。

スクリーンには守る会の歴史についてのスライドと、家庭での備蓄・ローリングストックについての説明のスライドが流れ、それを見ながら皆さんゆっくり過ごされました。



○参加者の声

- ・どういったものを準備すればよいのか迷ってばかりで一歩が踏み出せません。
- ・2週間分多めに、薬と栄養剤を保管しています。
- ・障がい者本人のものは準備しているが、家族の方はもう少し備蓄した方がよいと思った。
- ・非常時のような心身が疲弊する時ほど美味しいもので癒されることもあるのかなと思い、
自宅にはお菓子を常に多めに置いてローリングストックしています。(チョコレートやポテトチップス、ようかんなど)

《パネルディスカッション》

午後は、岡山大学の鷲尾洋介先生、平山隆浩先生、NES 株式会社の西謙一先生をパネリストにお迎えして、「自宅避難をみんなで考える」というテーマでパネルディスカッションを行いました。

前半は、岡山市のガブテックチャレンジの取り組みや医療的ケア手順集の紹介、福祉避難所について、後半は自宅避難の事例や非常時の電力確保についてでした。蓄電池や発電機のお話をうかがったり、意見交換をしたりしました。



○参加者感想

- ・ガブテックチャレンジおかやまについて初めて知りました。行政や医療、福祉関係者が当事者に予想される困難に対して考えられていることを知り、感動しました。この取り組みが有事の際に活きることを望みます。
- ・臨床工学士さん、実際に現場で活躍された先生のお話でしたので、興味深かったです。
- ・医療的ケア児の手順集の作成など、重症児のために日夜奮闘されている先生に頭が下がります。災害時などに地域で支え合う土台づくりとして、子ども時代の教育の大切さに共感しました。
- ・ポータブル電源はあって困らないと痛感しました。
- ・直流、交流の違いや療養住環境(何時間後に電気がなくなる)の話に興味が湧きました。
- ・正しい知識を得たい内容でしたが、時間の制約があり少し残念でした。
- ・フロアからの発言や質問を、適宜取り入れてください、みんなで考えられた時間だと思いました。
- ・みなさんの困り事を生の声で聞いて、事業所でできること、私個人ができることに思いを至らせる時間でした。
- ・在宅でいると自分たちで考えて行動するしかないと思っていましたが、いろいろな方面でアドバイスや援助をしてくださる方があることを知り、心強く思います。
- ・個別避難計画についてさらに詳しいものを作成されようとしていることや、地域のニーズ、避難所の状況を地図に落とし込む取り組みはさらに進めてほしいと思いました。

《バンド演奏》

最後は、あきママバンドによるバンド演奏でした。
一緒に口ずさんだり、身体を揺らしたり、
皆さんノリノリで素敵な演奏を楽しんでいました。
イントロクイズでも盛り上りました！



○参加者感想

- ・エネルギッシュな歌も静かな歌もあり、心が和みました。
- ・緊張がほぐれて楽しかった。ありがとうございました。
- ・とてもよかったです。子どもも喜んでいました！元気をもらいました。
- ・あきママバンド最高です！！

《展示コーナー》

ポータブル電源・発電機(ガス)・電源不要の吸引器(足踏み式、バッテリー式、手動式)・
抱っこひも・医療的ケア手順集・防災食・災害時の車椅子資料 等
災害時に役立つ情報の展示をさせていただきました。



《ありがとうございました》

岡山県守る会初の試みで、朝から長時間のスケジュールでしたが、講師の先生をはじめ、参加してくださった皆さまのご協力のおかげで無事に実施することができました。
ありがとうございました。

○参加者感想

- ・とても素晴らしい機会をありがとうございました。自分のことも含めて考えさせられました。
- ・つながりの大切さ、自分ができることは何か考えていきたいです。
- ・行政の方の参加は驚きと希望が持てました。
- ・災害の備えは自助、互助、公助が重なりあって、みんなが助かる方法を考えていかなくてはならないと改めて思いました。
- ・今回の企画は様々な切り口で構成されており、多くの気づきをいただきました。



*当日お配りした食料の備蓄についての資料を同封しています。参考にしていただければ幸いです。

*10月に中国ブロックで行いました「避難行動要支援者名簿」および「個別避難計画」の作成状況調査では、回答のご協力ありがとうございました。今後中国ブロックとして支援体制強化に役立たせていただきたいと思いますので、今後ともご協力をお願いいたします。

守る会へのご要望や、今後行なつたらよいと思う研修などのご意見、日頃思っていることや感じていること、困っていることなど何でもお伝えください。
よろしくお願ひいたします。

お問い合わせ

岡山県重症心身障害児(者)を守る会事務局

TEL 086-275-3211

FAX 086-275-5102

メール kazoku@jidouin.jp

